

LPガス用逆止弁付根元ボールバルブ[MSA-8CS] 取扱説明書

この取扱説明書は、主としてLPガス販売事業者・LPガス配管設備士の方を対象に、製品説明、安全のために、設置工事、維持管理、お客様への説明、連絡先の順に作成してあります。
お客様に、安全にLPガスをご使用していただくために、液化石油ガス法及び関係基準を遵守するほか、この取扱説明書をよくお読みになり、LPガス設備の安全を図ってください。

説明文の前やイラストに付したマークの指示と内容は次のようになっております。
内容を良く理解してから本文をお読みください。



．．．．この記号は、「禁止」の行為であることを告げるものです。



．．．．この記号は、「注意」を表し、この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、及びガス漏れによる火災発生などの物的損害の発生が想定される内容を示します。



．．．．この記号は、「必ず実施」していただく内容を告げるものです。
行為を強制したり指示する内容を示します。

1. 製品説明



逆止弁付根元ボールバルブ(以下ボールバルブという)は、一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会の自主検査合格品です。右の合格マークを確認してください。

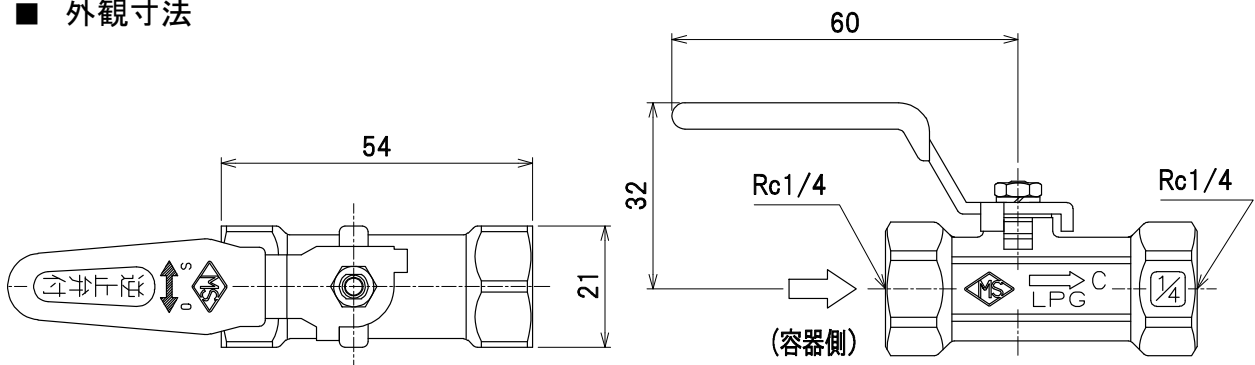
- ボールバルブは、LPガス供給設備用高圧集合管の根元バルブとして、気相ラインに使用するもので、出口側からのガスの逆流を防止する機能があります。

■ 型式・仕様

型式	接続ねじサイズ	気密試験圧力	定格流量 空気(LPG)
MSA-8CS	入口(管用テーパネジ): Rc1/4	1.8 MPa	3.6m ³ /H 以上 (約 5.6kg/h) 以上
	出口(管用テーパネジ): Rc1/4		

定格流量は、圧損水柱 1500mm のときの空気量を示す。(LPG換算参考値)

■ 外観寸法

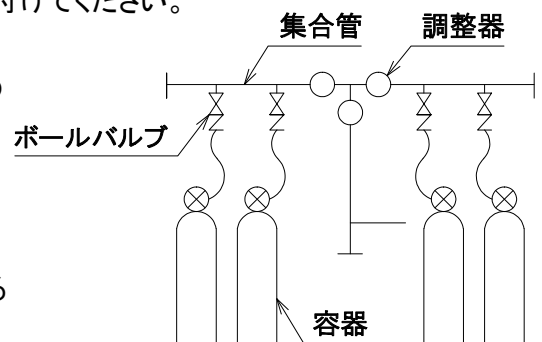


2. 安全のために

-  このボールバルブは、LP ガス供給設備用高圧集合管の根元バルブとして気相ラインに使用するものです。液相ライン、圧力計元弁には使用しないでください。また、LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので、他の用途には使用しないでください。
-  このボールバルブは、工場で精密に組み立てられております。分解、改造をするとガス漏れなどによる事故発生の原因となりますので絶対にしないでください。
-  埋設用としては設計、製作されておきませんので、埋設設置はしないでください。
-  このボールバルブは、冠水する場所、湿度の高いところ、及び腐食性ガスの影響を受ける恐れのある場所には設置しないでください。
-  このボールバルブは、燃焼器具の炎を直接受けるところ、輻射熱を受ける場所、及び衝撃を受けやすい場所への設置は避けてください。
-  このボールバルブのハンドル位置は「全開」又は「全閉」で使用してください。ハンドルの回転が固い場合、ハンマーなどでたたいて無理に回すと、ガス漏れの原因となりますので絶対にしないでください。

3. 設置工事

-  ボールバルブの設置、取付け工事はLPガス設備士自ら行ってください。
-  ボールバルブの取付けにおいては、本体の流れ方向の表示()にしたがって、下図に示す位置に出入口を水平または入口側を下向きに取付けてください。
-  配管にボールバルブを取り付ける際は、ガス漏れなどのトラブルを防止するため、ねじ部の切粉やゴミなどの異物を完全に除去してください。配管のねじ山(R1/4)には耐LPガス性のシール剤を塗布してください。ボールバルブ内へのシール剤のはみ出しを防止するため、ねじ先端の1山にはシール剤を塗布しないでください。
-  シールテープは、切れ端がボールバルブ内に浸入する恐れがありますので使用しないでください。
-  配管にボールバルブをねじ込む際は、本体の配管に近い側の六角部に、スパナを正しくかけてねじ込んでください。
過剰な締付けは、破損、ガス漏れの原因となりますので、適切な力で締込んでください。
締付けは、手締め後 1.5 回転のスパナ締めを標準とします。
締付けトルクは、次の表を目安としてください。

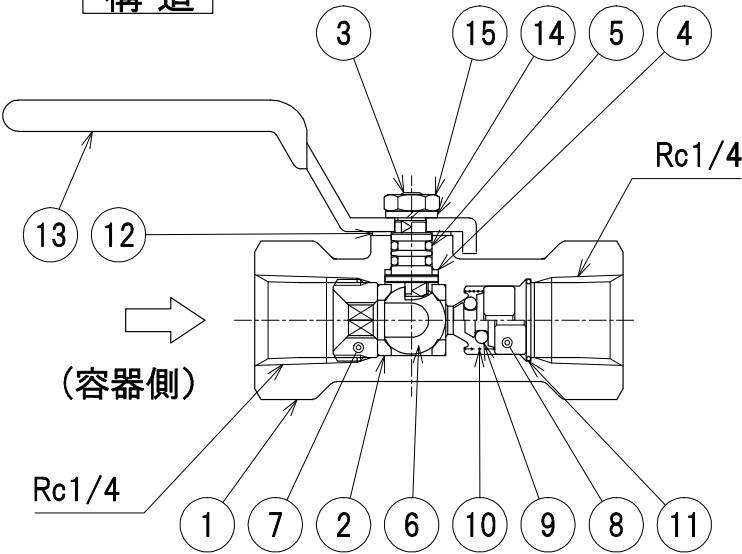


締め付ける力の目安 (スパナ全長 300mm のとき)

接続ねじサイズ	締め付けトルク	スパナに加える力
Rc1/4	20N・m	70N

-  ボールバルブの締め付けトルクには、パイプレンチは絶対に使用しないでください。
-  ガス漏れの原因となりますので、ボールバルブに無理な配管の曲げ応力が加わらないように正しく設置してください。
-  設置完了後には、気密検査などの法定検査を実施し、ボールバルブのハンドルが正常に作動することを確認してください。

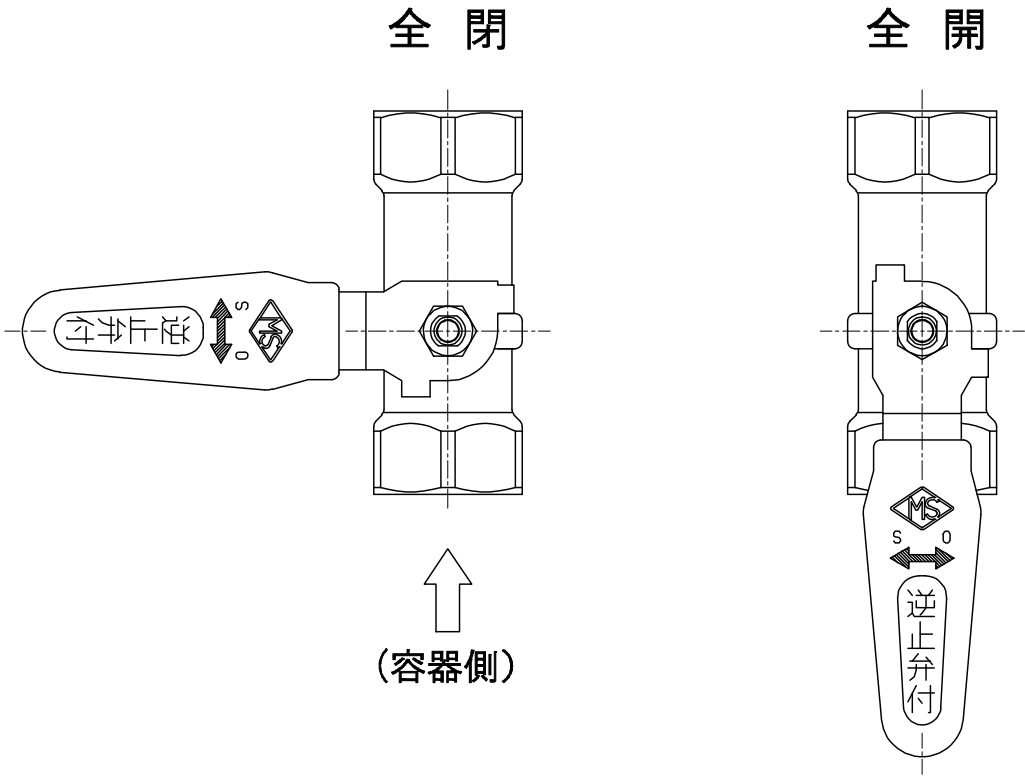
構造



15	ナット	SUS304	1	
14	スプリングワッシャ	SUS304	1	
13	ハンドル	SUS430	1	
12	スラストパッキン	PTFE	1	
11	止メ輪	SUS304	1	
10	スプリング	SUS304	1	
9	O-リング	NBR	1	
8	弁体	C3604B	1	
7	ボディインサート	C3604B	1	
6	ボール	C3604B	1	
5	O-リング	NBR	2	
4	グランドパッキン	PTFE	1	
3	ステム	C3604B	1	
2	シートパッキン	PTFE	2	
1	ボディ	C3771B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

- 逆止弁は、ボディに組込まれており、集合管側から容器側へ一定量のガスが流れたとき、ガスの通路を閉止する構造となっています。
- 通常はスプリングの力により開いており、集合管側と容器側の圧力差が0のときは、再液化したLPガスが集合管側から容器側へ戻る構造となっています

使用時におけるハンドルの位置



4. 維持管理

-  点検、調査時にはガス漏れのほか、ハンドルの操作性についても確認し、ハンドルの回転の重いものは新品と交換してください。
-  ガス漏れ検知液を塗布した後は、錆などの発生を防止するため、良くふき取ってください。
-  接続されていないボールバルブには必ず止め栓を施してください。
-  この製品が原因で事故となり損害が生じた場合、製造後7年以内の期間に限り、生産物損害賠償責任保険により補償いたします。
製造後、7年以上経過したボールバルブは、経年劣化により製造時の品質が維持できない場合がありますので、賠償責任保険の有効期間が過ぎた製品は、新品と交換してください。
-  容器を交換されるときは、必ずボールバルブを全閉にしてから、行なってください。

5. お客様への説明

- 取り扱い方法をこの取扱説明書にしたがって、お客様へ十分に説明してください。
- 保証及び保証書に関する必要事項を、お客様に説明してください。

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(TEL)011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	大阪営業所	(TEL)06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
仙台営業所	(TEL)022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	九州営業所	(TEL)093-921-0981 (Fax) 093-921-0984
東京営業所	(TEL)03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	広島出張所	(TEL)082-426-5002 (Fax) 082-426-5003
名古屋営業所	(TEL)052-951-3860	(Fax) 052-951-3862		